

ヒートポンプ式温水床暖房

据 付 説 明 書




二次元バーコードは製造用コードです。

安全上のご注意


- 据付け前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、据え付けてください。
- ここに示した注意事項は、次の2種類に分類しています。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。


 <b>警告</b>	誤った据付けにより、死亡や重傷などの重大な結果に結び付く可能性が大きいもの。	 <b>注意</b>	誤った据付けにより、傷害を負う可能性、または物的損害の可能性のあるもの。状況によっては重大な結果に結び付く可能性があるもの。
---	--	---	--

●本文中に使われる「絵表示」の意味は次の通りです。

 <b>指示を守る</b>	 <b>アース線接続</b>	 <b>禁止</b>
--	---	---

●据付工事完了後および各種設定確認後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそってお客様に使用方法、お手入れのしかたを説明してください。

 <b>警 告</b>	
●据付けは、お買い上げの販売店または専門業者に依頼する。 <small>お客様ご自身で据付けされ不備があると、水漏れや感電、火災の原因になります。</small>	●配線を途中で接続しない、電源コードを束ねない、より線や延長コードの使用、タコ足配線はしない。 <small>施工不備があると、発熱や感電、火災の原因になります。</small>
●据付工事は、この据付説明書に従って確実にを行う。 <small>据付けに不備があると、水漏れや感電、火災の原因になります。</small>	●電源の配線は、所定の電線を使い確実に接続し、端子部に電線の外力が加わらないよう確実に固定する。 <small>接続や固定が不完全な場合、発熱や感電、火災の原因になります。</small>
●設置工事事品は、必ず付属品および指定の部品を使用する。 <small>指定部品を使用しないと、ユニットの落下、水漏れ、感電、火災の原因になります。</small>	●電源の配線は、閉鎖弁カバーなどの構造物が浮き上がらないよう電線を成形し、カバーを確実に取り付ける。 <small>カバーの取付けが不完全な場合、端子部の発熱や感電、火災の原因になります。</small>
●据付けは、質量に十分耐える所に確実にを行う。 <small>強度不足や取付けが不完全な場合、ユニットの落下により、けがの原因になります。</small>	●移設の場合、冷凍サイクル内に指定冷媒(R410A)以外の空気などを混入させない。 <small>空気などが混入すると、冷凍サイクル内が異常高圧になり、破裂やけがなどの原因になります。</small>
●据付工事は、必ず電源を切って行う。 <small>電源を入れたまま電気部品に触れると感電の原因になります。</small>	●指定冷媒(R410A)以外は使用しない。 <small>(機器の故障や破裂、けがなどの原因)</small>
●電気工事は、電気工事士の資格のある方が「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」およびこの据付説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用する。 <small>電源回路容量不足や施工不備があると、火災や感電の原因になります。</small>	●作業中に冷媒ガスが漏れた場合は、換気する。 <small>冷媒ガスが火気に触れると、有毒ガスが発生する原因になります。</small>
●アース工事は、必ずD種接地工事を行う。 <small>アース線は、ガス管や水道管、遊雷針、電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合、感電や火災の原因になります。</small>	●不凍液を乳幼児・お子様の手の届くところへ置かない。 <small>(健康を害するおそれ) 万一飲んだ場合は、すぐに吐かせて医師の診断を受けてください。</small>
●漏電しゃ断器を必ず取り付ける。 <small>漏電しゃ断器が取り付けられていないと、感電や火災の原因になります。</small>	

 <b>注 意</b>	
●可燃性ガスの漏れるおそれのある場所への設置は行わない。 <small>万一ガスが漏れて、ユニットの周囲にたまり、発火の原因になります。</small>	●室外ユニットの天板を外すときは強くにぎらない。 <small>鋭利な板金によりけがの原因になることがあります。</small>
●フレアナットはトルクレンチなどで指定の方法で締め付ける。 <small>フレアナットの締め付け過ぎがあると、長期経過後フレアナットが割れ、冷媒漏れの原因になることがあります。</small>	●運転中や停止直後に給水タンクのふたを開けない。 <small>(循環水が飛び散ってやけどの原因)</small>
●室外ユニットの吸込口やアルミフィンに触らない。 <small>けがの原因になることがあります。</small>	●室外ユニットは、小動物のすみかになるような場所には据え付けない。 <small>(小動物が侵入して、内部の電気部品に触れると、故障や発煙、発火の原因) お客様に周辺をきれいに保つことをお願いしてください。</small>

据付場所の選定

●下記断熱が施された住宅であることを確認してください。

適用地域	年最低気温が おおむね -5℃以上の地域	年最低気温が おおむね -20℃以上の地域
住宅の断熱仕様	新省エネルギー (平成4年) 基準以上	次世代省エネルギー (平成11年) 基準以上

- 敷詰め率が不足する場合は、補助暖房を設置してください。
- 年最低気温が-10℃を下回る地域や、昼間も0℃以下の気温が数日続く地域、凍結が頻繁に起こるような地域は指定不凍液を使用してください。
- 温水パイプ部分で凍結しないよう、地域の気象条件に合わせて断熱を増やすか、凍結のおそれのない場所に設置してください。

- 据付場所は、お客様の同意を得て決定してください。
- ワイヤードリモコン**
  - ワイヤードリモコンの据付説明書をご覧ください。
- 室外ユニット**
  - 室外ユニットの振動・質量に耐え、運転音が増大しないしっかりした所。
  - 施工制限** 据付パターンで示す据付スペースが守れる所。
  - 排水されたドレン水が流れても問題のない所。(室外ユニットからドレン水が出ます。)
  - 吸込口・吹出口に障害物のない所。(降雪地では、雪でふさがれない所や雪を直接吸い込まない所。)
  - 雨、強風、直射日光があたりにくく、風通しのよい所。
  - 消防法および都道府県の条例などを満足する所。

- 可燃性ガスの漏れるおそれのない所。
- 吹出側正面から強風が連続的に吹き付けない所。(ファンが高速で逆回転し、破損するおそれがあるため。)
- 海岸地域など塩分が多い所、硫化ガス成分が多い所、機械油など油の蒸気が発生する所では、室外ユニットの寿命が短くなる場合があります。
- 運転音や冷温風が隣家の迷惑にならない所。(特に隣家との境界線では、環境基本法第16条に基づく騒音に係る環境基準および都道府県の条例などを満足すること。)
- テレビ、無線機などのアンテナより3m以上間隔を取れる所。
- 床暖房パネル**
  - 指定されたお部屋に敷設してください。

# 据付工事のポイント

## 室外ユニット

工事のポイント	記載箇所
●本機は、 <b>200V専用室外電源機</b> です。 電源電圧に注意し、電源仕様を確認の上、配線工事を行ってください。	<b>室外ユニットの据付け③</b>   <b>5</b>   <b>配線工事</b>
●必ず漏電しゃ断器の取付け、D種接地工事を行ってください。	
●床暖房パネルの温水パイプは、地域に合った断熱を施してください。	<b>室外ユニット据付図</b>
●床暖房パネルの温水パイプは、系統1から順に接続します。	<b>室外ユニットの据付け①</b>   <b>3</b>   <b>温水パイプの接続</b>
●閉鎖弁には触らないでください。冷媒ガスが漏れるおそれがあります。	<b>室外ユニット据付図</b>
●電源ブレーカーを入れた後に、メインリモコンで初期設定を行ってください。	<b>①電源投入</b>
●冬期にお客様への引き渡しまでに、電源ブレーカーを切られる場合には、必ず水抜きを行ってください。また、引き渡し時には給水してください。 (指定不凍液を使用の場合は、水抜きを行わないでください。)	取扱説明書「長期間使わないとき」参照

## 床暖房用部材

- 床暖房用部材の施工方法は、各種床暖房パネルに付属の工事説明書をご参照ください。

### 床暖房用部材工事のポイント

- 床暖房パネルと床材が、カタログなどに記載の推奨品であることを確認してください。  
推奨品以外の場合は、暖まりが悪くなったり、床材にすき間やひび割れが生じたり、指定の不凍液の影響で温水パイプが劣化することがあります。
- 床暖房の能力を十分に発揮させるためには、床暖房パネルの面積は床面積の70%が標準で、最低60%以上は必要です。
- 木質フローリングの方向によって、床暖房パネルを敷く方向が決まります。木質フローリングの方向と床暖房パネルの小根太の方向とが直交するように、床暖房パネルを敷いてください。
- 床暖房パネルの小根太部以外には、絶対に木ネジや釘などを打たないでください。パイプを損傷し、水漏れの原因となります。
- 施工時および養生時に床暖房パネル表面や温水パイプを傷つけないでください。
- 温水パイプには粘着テープ(ガムテープ、ビニルテープなど)や塩ビ系樹脂(リモコンコード、電源コードなど)を接触させないでください。パイプが劣化します。
- 温水パイプは直射日光があたらないように施工・養生してください。パイプが劣化します。
- 室外ユニットの据付け前に、床暖房パネルの指定の方法で床暖房パネルの漏れがないことを確認してください。気密テストはゲージ圧力196kPa(2kgf/cm<sup>2</sup>)で1時間以上行ってください。(できるだけ製品の据付時まで、放置してください。)気密テストに水を使用する場合は、凍結に注意してください。

# 別 売 品

## 別 売 品

品 名	品 番	
リモコンコード (2芯)	5m	KRCW301A05
	8m	KRCW301A08
	12m	KRCW301A12
	20m	KRCW301A20
	50m	K-RW2050A
	100m	K-RW2100A

5~20mはY端子付きです。リモコン側はY端子をカットして使用願います。

- 必要な距離に応じて、該当するリモコンコードを用意してください。
- 合計線長は50m以下にしてください。

## 床暖房用手配部材

- 別途下記の床暖房用部材が必要です。
  - ・床暖房パネル
  - ・温水パイプ
  - ・温水床暖房用ポリエチレン製CD管  
(条件により断熱が必要です。)
  - ・CHジョイント
  - ・CHクリップ
  - ・CH止水栓
  - ・Lバンド

床暖房パネルによって異なります。  
詳しくは、カタログなどをご覧ください。

## 指定不凍液

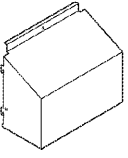
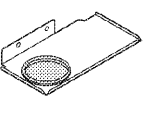
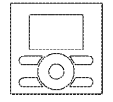


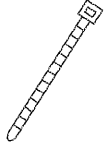


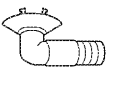
- 地域により必要です。  
品番：KM-37  
(同等品、ショーワ(株)製 M-37)

## 増設リモコン

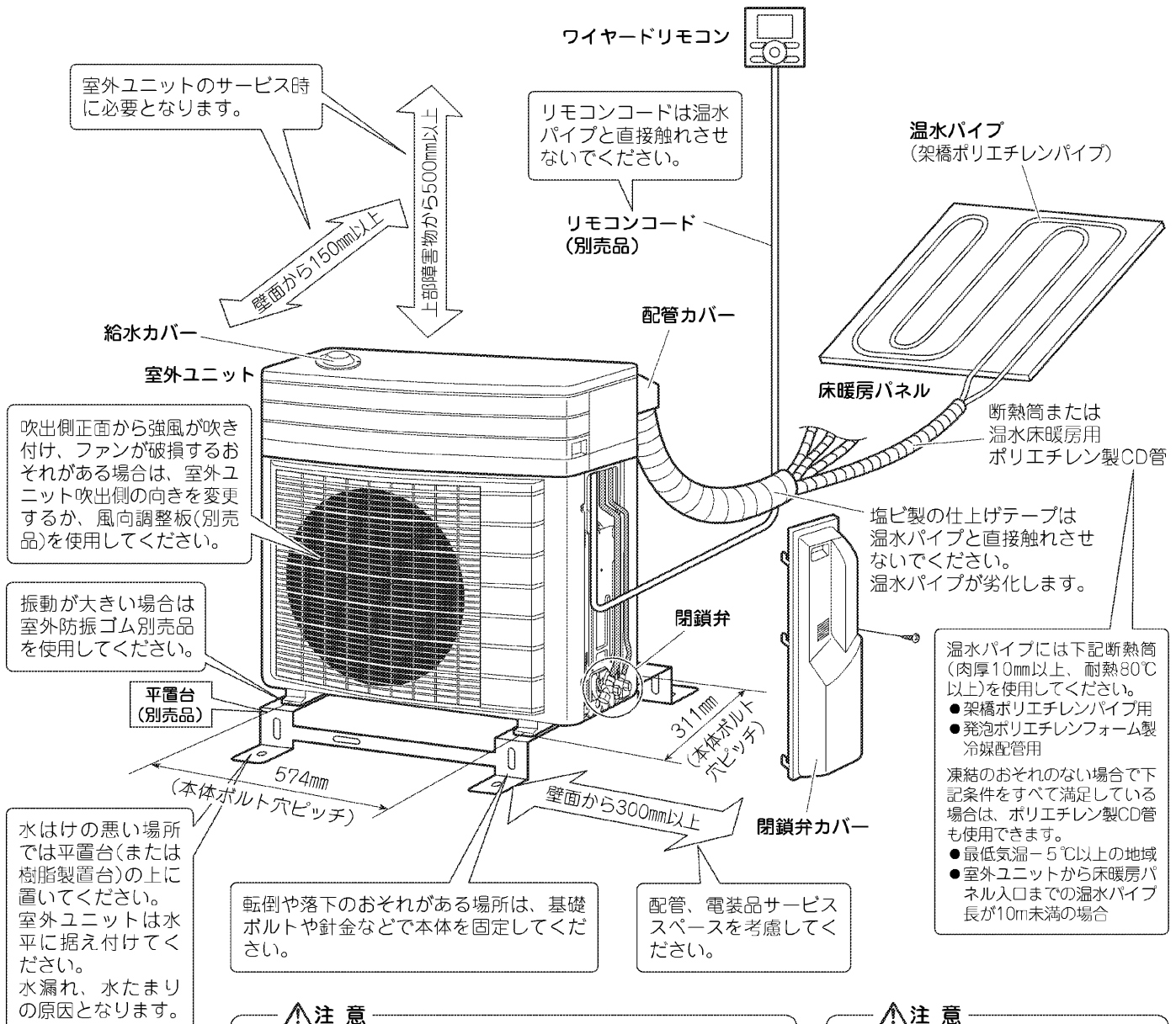
- 2台のリモコンで操作する場合には必要です。  
品番：KRC986A1

# 付属部品

※リモコンコードは別売品です。

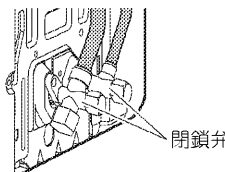
配管カバーセット (室外ユニット内部に梱包しています。)		リモコンセット (室外ユニット内部に梱包しています。)						ドレンソケット	取扱説明書 (1部) 据付説明書 (2部) 保証書 (1部)
配管カバー	配管カバー台	ワイヤード リモコン	木ネジ ( $\phi 3.5 \times 16$ )	小ネジ (M4 $\times$ 16)	結束バンド	配線押さえ	室外ユニット側 結束バンド		
									
(1個)	(1個)	(1個)	(2本)	(2本)	(1本)	(1個)	(1本)	(1個)	

# 室外ユニット据付図



## 注意

閉鎖弁について  
閉鎖弁には触らないでください。  
冷媒ガスが漏れるおそれがあります。



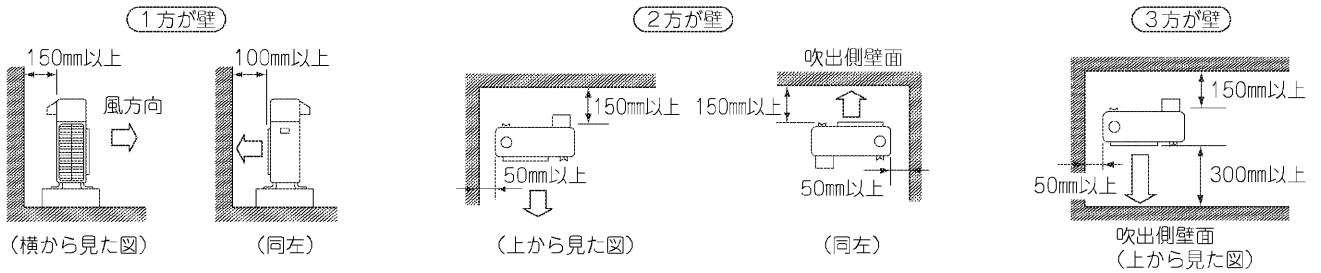
## 注意

室外ユニットから床暖房パネル入口までの温水パイプ部で凍結しないよう、地域の気象条件に合わせて断熱筒を厚くするか、凍結のおそれのない場所に据え付けてください。

# 施工制約

## 室外ユニットの据付所要スペース

- 室外ユニットの吸込口、および吹出口周辺に壁などの障害物がある場所に据え付ける場合は、下記パターンに従ってください。
- いずれの据付パターンでも、吹出側壁面高さは1.2m以下としてください。(□は風方向を示します。)



## 床暖房パネルの施工制約

- 床暖房パネルは、1MU28RFV, 1MU28NFVでは最大2系統、1MU40RFV, 1MU40JFVでは最大3系統、1MU56RFV, 1MU56JFVでは最大4系統まで接続できます。
- 床暖房パネルを敷き詰める面積は、床面積の70%が標準です。最低60%以上は敷き詰めてください。

〈機種毎の最大接続系統数〉

1MU28RFV	1MU40RFV	1MU56RFV
1MU28NFV	1MU40JFV	1MU56JFV
2	3	4

### 〈標準設置例〉

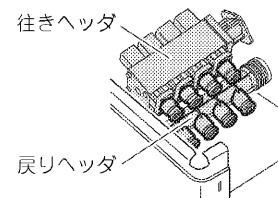
(1MU56RFV, 1MU56JFVで4系統接続の場合)

床暖房パネル～室外ユニット間

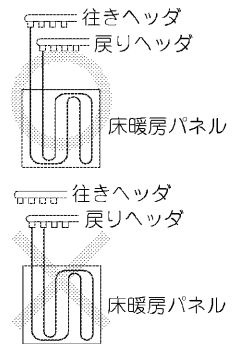
最大許容長さ(各系統とも)  
CD管使用時：10m以下  
断熱筒使用時：15m以下

1系統あたり  
最大許容床面積  
6畳以下  
最小許容床面積  
2畳以上

各床暖房パネルで制約が異なります。  
詳しくは、カタログ、技術ガイドなどで確認してください。



- 2本の温水パイプを同じヘッダに接続すると、温水は流れません。

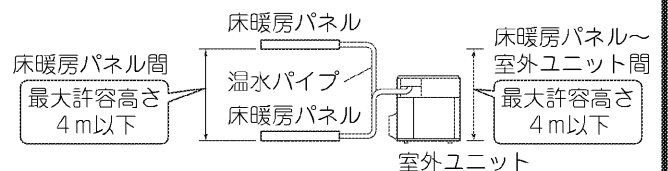
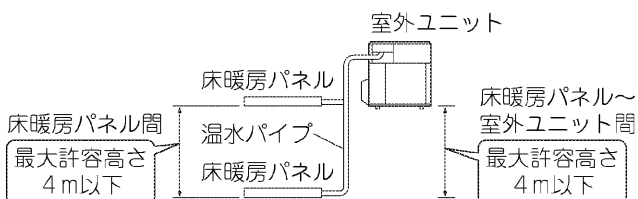


## 温水パイプの最大許容高低差

- 室外ユニット、床暖房パネルの最大許容高低差は以下の通りです。

室外ユニットが床暖房パネルよりも上設置の場合

室外ユニットが床暖房パネルよりも下設置の場合



# 室外ユニットの据付け①

## 1 室外ユニットの据付け

### △注意

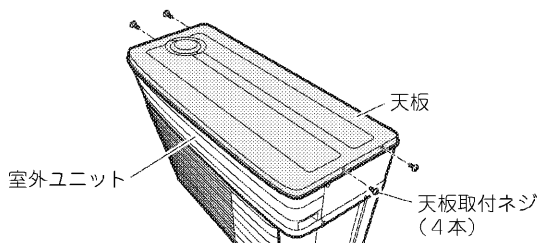
室外ユニットは、小動物(虫やカエルなど)のすみかになるような場所には設置しないでください。(例えば、落ち葉の多い所など)

小動物が侵入し発煙・発火の原因になります。また、侵入することを減らすために「置台」を必ず使用し、お客様に周辺をきれいに保つことをお願いしてください。

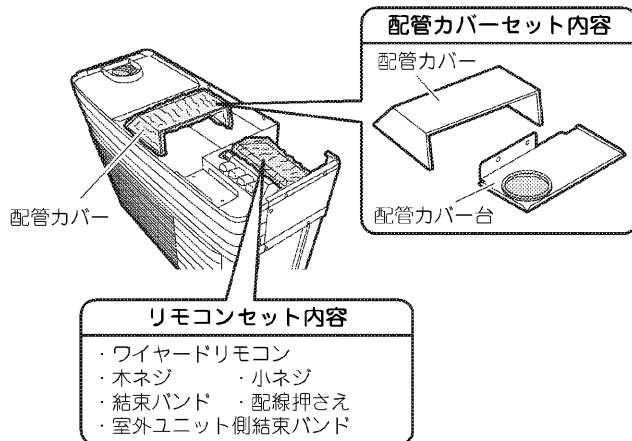
- 室外ユニットの据付けは、**据付場所の選定**、**室外ユニット据付図**、**施工制約**を参照してください。
- ドレン処理が必要な場合、右記要領でドレン工事を行ってください。
- 凍結のおそれのある地域では、ドレンソケットは取り付けず、ドレン排水は「タレ流し」にしてください。(ドレンホースを使用すると、ドレン水が底フレーム内で凍結し、暖房効果が損なわれることがあります。)

## 2 配管カバー台の準備

① 室外ユニットの天板を取り外します。(ネジ4本)

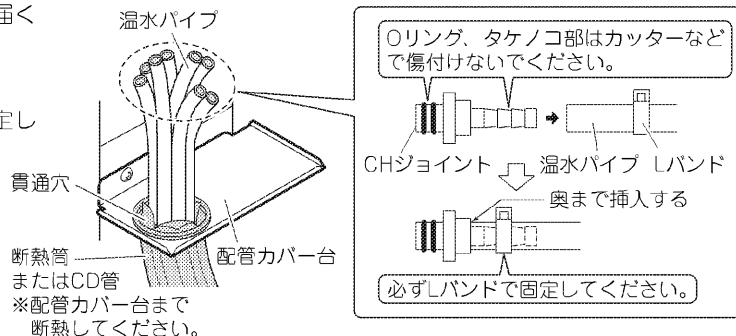
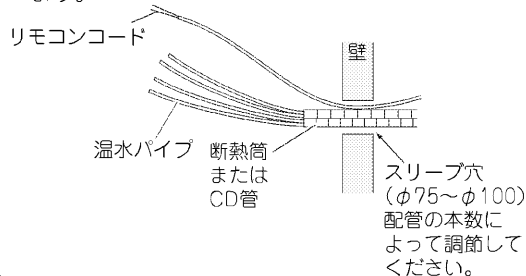


② 配管カバーセットとリモコンセットを取り出してください。



## 3 温水パイプの接続

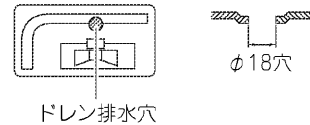
- ① 温水パイプ、リモコンコードを室外ユニットの接続部に十分届くように引き出してください。
- ② 温水パイプを配管カバー台の貫通穴に通します。
- ③ 温水パイプの先端にCHジョイントを挿入し、Lバンドで固定します。



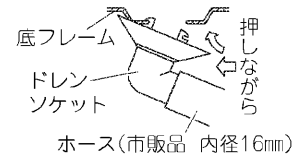
- 温水パイプの中にゴミやホコリが入らないように注意してください。
- CHジョイントは傷やホコリを付けないよう、ていねいに取り扱いってください。

### ドレン工事

- ドレン排水するときは、ドレンソケットを使用してください。
- 排水穴が取付台や床面などに隠れる場合は、室外ユニットの脚下に30mm以上の間座を入れてください。

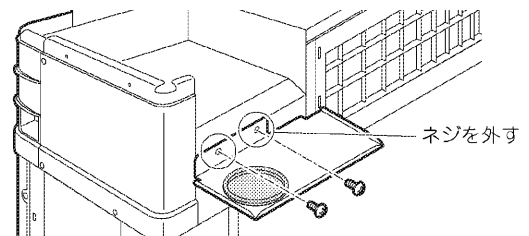


### ドレンソケットの取付け

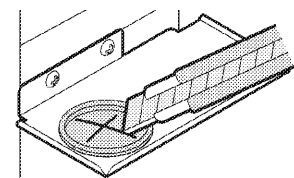


③ 室外ユニットの取付ネジを外し、配管カバー台を室外ユニットに取り付けます。(ネジ2本)

- 外したネジを使用して取り付けてください。

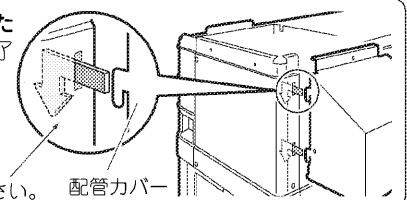


④ 配管カバー台の配管貫通用ゴム部に温水パイプが通る最適な大きさの切り込みを入れます。



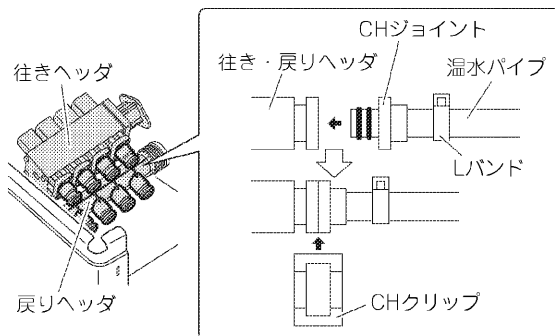
■ 配管カバーの取付けかた  
温水パイプの接続が終了したら、配管カバーを取り付けてください。

4カ所を確実に  
はめ込んでください。



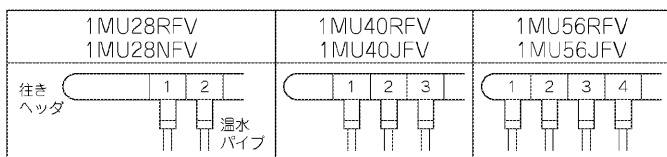
## 室外ユニットの据付け②

- ④ 温水パイプのCHジョイントを行きヘッダ、戻りヘッダに挿入し、CHクリップで固定します。
- CHジョイントが挿入しにくい場合、Oリングに少量の水道水を塗布すると挿入しやすくなります。
  - 温水は、行きヘッダ→床暖房パネル→戻りヘッダの順に循環します。
  - 床暖房パネルが3系統以下の場合、各ヘッダの1から順に温水パイプを接続します。  
例えば、床暖房パネルが2系統の場合、各ヘッダの1・2に温水パイプを接続してください。
  - 温水パイプを接続しないヘッダの接続口には、CH止水栓を挿入し、CHクリップで固定します。



CH止水栓は傷やホコリを付けないように、ていねいに取り扱ってください。

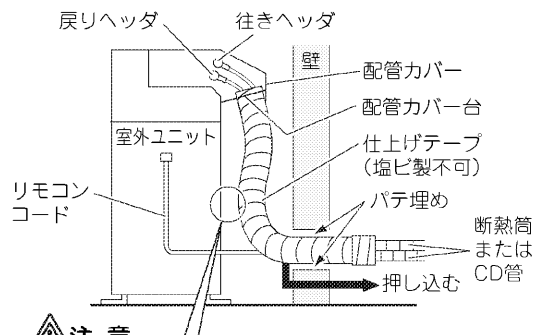
- 行きヘッダに表示している数字が**⑤ゾーン設定**の熱動弁の番号です。間違えないようにしてください。



- ⑤ 温水パイプは、仕上げテープ(塩ビ製不可)などで束ねてください。
- ⑥ テープで固定した部分がスリーブ穴の内側に確実に入るように押し込みます。
- ⑦ 雨水や小動物の侵入防止のため、スリーブ穴と仕上げた温水パイプのすき間をパテ埋めしてください。

### 注意

- 温水パイプには粘着テープ(ガムテープ、ビニルテープなど)や塩ビ系樹脂、リモコンコードを接触させないでください。温水パイプが劣化します。
- 温水パイプには直射日光があたらないようにしてください。施工・養生時ともご注意ください。温水パイプが劣化します。



注意  
温水パイプが熱交換器に触れないようにしてください。

- ⑧ 取扱説明書の裏表紙の「初期設定の記録」と室外ユニットの天板(裏側)の銘板の「床暖房パネルの記録」に敷設場所、名称、面積、設定したゾーンを記入してください。  
サービス時に必要となります。
- ⑨ 配管カバー(ツメ4ヵ所)と天板(ネジ4本)を室外ユニットに取り付けます。

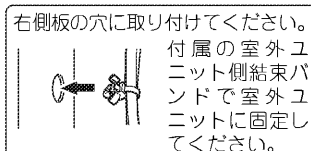
## 4 リモコンの取付け

### リモコンコードの接続

- ① 閉鎖弁カバーを取り外します。(ネジ1本)  
ネジを外し、下方へスライドし取り外します。
- ② リモコンコードをリモコン端子盤に接続します。

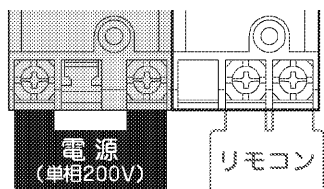
### リモコンの取付け

リモコンに付属の据付説明書を参照してください。

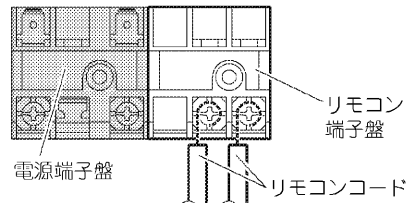


### 接続場所について

「電源端子盤」と「リモコン端子盤」を間違わないようご注意ください。間違えるとリモコンが故障するおそれがあります。接続前に必ず表示を確認してください。



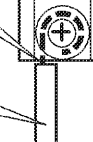
端子盤に接続する場合は、先端のネジに、必ず右巻きで巻き付けてください。



- 端子のネジはしっかり締め付けてください。
- 端子盤への差込みかたは上図のようにしてください。
- 端子部の皮むきは下図を参照してください。

皮むきはここまで

皮むきが長いと感電、漏電の原因になります。



# 室外ユニットの据付け③

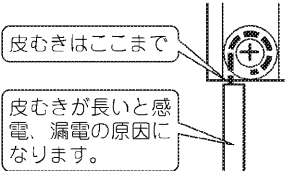
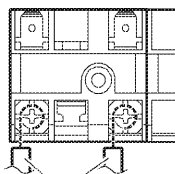
## 5 配線工事

### 警告

- 電源の配線は、「電気設備に関する技術基準」および「内線規程」に従って選定した電線を使い、確実に接続し、端子部に電線の外力が加わらないよう確実に固定してください。接続や固定が不完全な場合、端子部の発熱や感電、火災の原因になります。
- 配線の途中接続、より線や延長コードの使用、タコ足配線はしないでください。発熱、感電、火災の原因となります。
- 電気工事は、電気工事士の資格のある方が「電気設備に関する技術基準」「内線規程」に従って施工し、必ず専用回路を使用してください。電源回路容量不足や施工不備があると、火災、感電の原因になります。
- 力率改善用進相コンデンサは絶対に取り付けしないでください。力率が改善されないだけでなく異常過熱事故を起こします。

端子盤に接続する場合は、先端のネジに、必ず右巻きで巻き付けてください。

- 端子のネジはしっかり締め付けてください。
- 端子盤への差込みかたは右図のようにしてください。
- 端子部の皮むきは下図を参照してください。

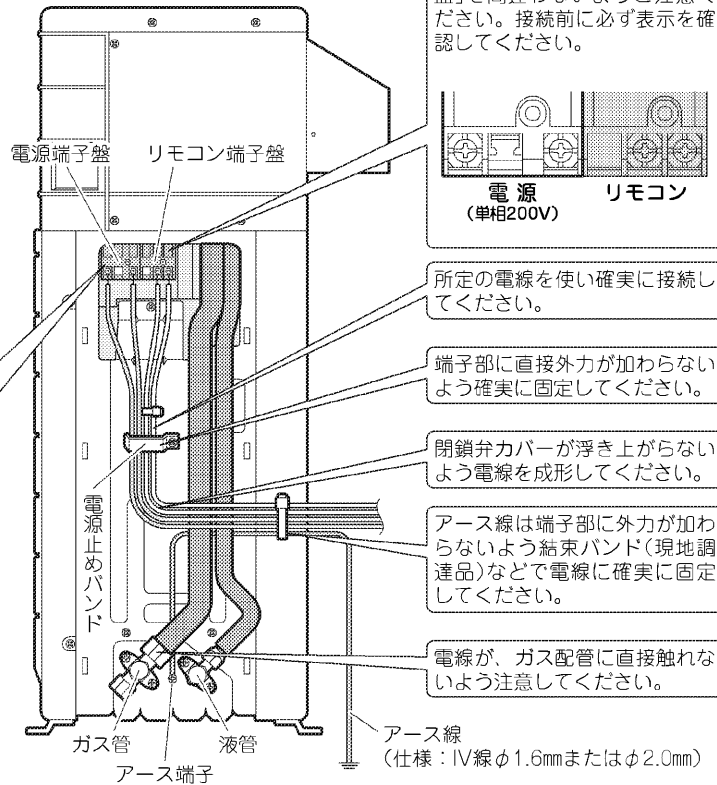
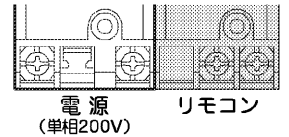


- 安全ブレーカーは、すべての作業が終わるまで入れないでください。
- 電源端子盤の端子のネジはしっかりと締め付けてください。
- 必ず漏電しゃ断器の取付け、D種接地工事を行ってください。漏電しゃ断器が取り付けられていない場合、D種接地工事が不完全な場合、感電や火災の原因になります。

本機は**200V専用室外電源機**です。

### 接続場所について

「電源端子盤」と「リモコン端子盤」を間違わないようご注意ください。接続前に必ず表示を確認してください。



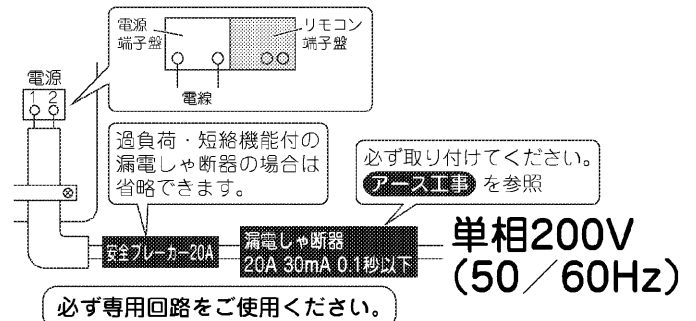
所定の電線を使い確実に接続してください。

端子部に直接外力が加わらないよう確実に固定してください。

閉鎖弁カバーが浮き上がらないよう電線を成形してください。

アース線は端子部に外力が加わらないよう結束バンド(現地調達品)などで電線に確実に固定してください。

電線が、ガス配管に直接触れないよう注意してください。



**単相200V (50/60Hz)**

必ず専用回路をご使用ください。

## アース工事

### 警告

- アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合、感電や火災の原因になります。
- ガス管は、ガス漏れ時に爆発、引火の危険性があります。
- 水道管は、感電の危険性があります。また、硬質ビニール管を使用の場合、アースの効果がありません。

### 接地の基準

- 漏電しゃ断器(高調波対応品)を取り付け、さらにD種接地工事が必要です。(本機はインバーター装置を有するため、漏電しゃ断器自体の誤動作を防止するため、高調波対応品を使用してください。)

### D種接地工事について

- 電気工事士の方が行ってください。
- 接地抵抗は500Ω以下にしてください。漏電しゃ断器は定格感度電流30mA以下で動作時間が0.1秒以下の電流動作型のものを取り付けてください。

### アース工事のしかた

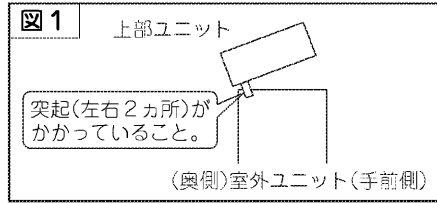
- ①閉鎖弁カバーを外します。
- ②アース線をアース端子に接続します。アース端子位置は、**室外ユニットの据付け③**を参照してください。

# HAシステムと接続する場合

上部ユニットをボンネット状に持ち上げて、前板を外しプリント板の「S16」にHA接続コネクタを取り付けます。

## 1. 上部ユニットを外す。

- ① 上部ユニットを固定しているネジを取り外す。(4本)
- ② 上部ユニットの奥側を支点とし、手前側をゆっくり持ち上げる。上部ユニットの底面内側左右奥の突起2カ所が、下部ユニットの板金フレームに引っかかっていることを確認してください。【図1】
- ③ 上部ユニットの底面内側左端の掛金をつめから外し、掛金の先端を下部ユニットの左側板に引っかける。

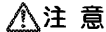
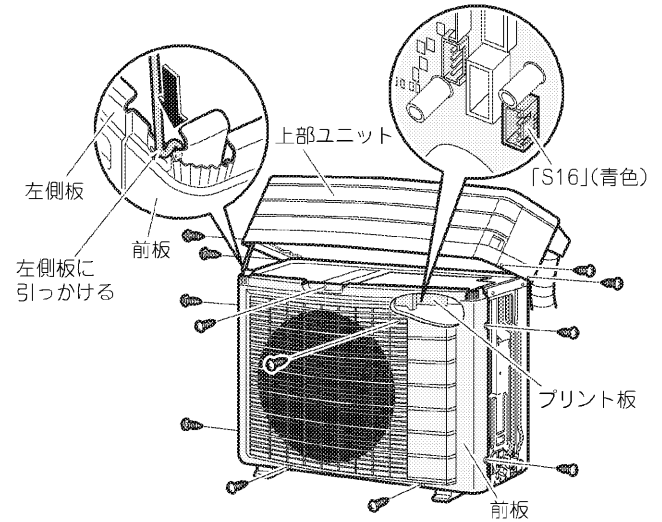


## 2. 前板を外す。(ネジ8本)

## 3. HA接続コードを取り付ける。

- ① HA接続コードを電源配線と同様に引き回す。
- ② プリント板上のコネクタS16(青色)に、HA接続コードを接続する。

## 4. 前板、上部ユニットをもとどおり取り付け。



**注意**

上部ユニットの落下に注意してください。

# 試運転前の確認

裏面の**①電源投入**前に、下記の内容が完了していることを確認してください。

## 確認項目

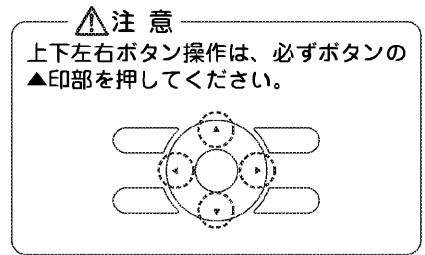
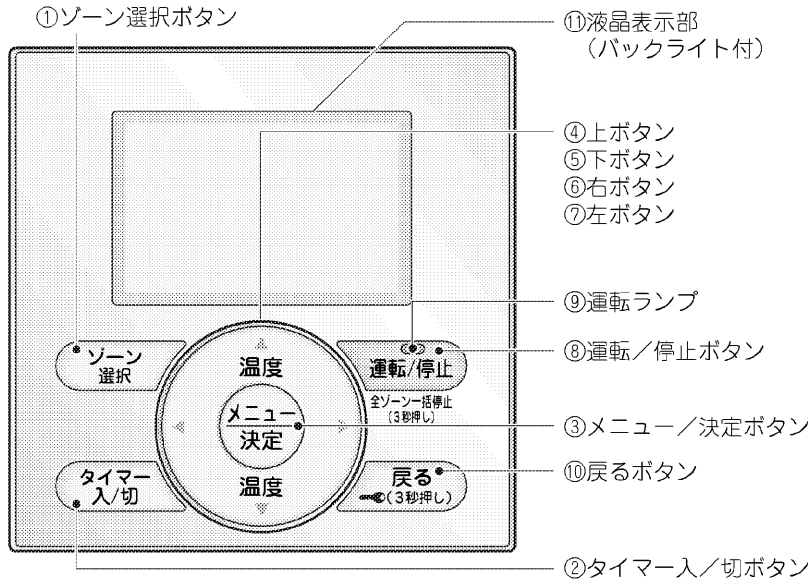
チェック項目  欄でチェック(☑)をしてください。

チェック項目	不良の場合
<input type="checkbox"/> 安全ブレーカー1次側で電圧を測定し、200Vであることを確認してください。	運転不能
<input type="checkbox"/> 漏電しゃ断器は取り付けましたか。	漏電時危険
<input type="checkbox"/> D種接地工事は確実ですか。	漏電時危険
<input type="checkbox"/> 室外ユニットはしっかり据え付けられていますか。	振動・騒音・落下
<input type="checkbox"/> ドレンの排水は確実ですか。	水漏れ・故障
<input type="checkbox"/> 電線は正しく接続されていますか。(「電源端子盤」と「リモコン端子盤」は間違わないように注意してください。)	暖まらない・焼損
<input type="checkbox"/> 電線は仕様どおりですか。	運転不能・焼損
<input type="checkbox"/> 室外ユニットの吸入口、吹出口が障害物でふさがっていませんか。	暖まらない
<input type="checkbox"/> 温水パイプの断熱は十分ですか。	凍結
<input type="checkbox"/> 温水パイプの接続は確実ですか。 ● 温水パイプを接続しないヘッダの接続口には、CH止水栓を挿入し、CHクリップで固定していますか。 ● 温水パイプのCHジョイントを往きヘッダ、戻りヘッダに挿入し、CHクリップで固定していますか。	水漏れ・暖まらない
<input type="checkbox"/> 1系統あたりの床暖房パネルは2～6畳は確保できていますか。	暖まらない
<input type="checkbox"/> 取扱説明書の裏表紙の「初期設定の記録」と室外ユニットの天板(裏側)の銘板の「床暖房パネルの記録」を記入しましたか。	点検時情報不足

(裏面につづく)



# リモコンの各ボタンの機能とメニュー項目



①ゾーン選択ボタン  
ゾーンを切り換えます。

②タイマー入/切ボタン  
タイマー設定を切り換えます。

③メニュー/決定ボタン  
●メニューを表示します。  
(メニューの詳細内容は  
取扱説明書をご覧ください。)  
●設定を決定します。

## メニュー一覧

タイマー時刻設定  
快適自動  
時計合せ  
サービス連絡先/機種名  
給水運転  
水抜き運転  
温度エリア設定  
ゾーン名登録  
コントラスト設定  
バックライト設定

④上ボタン▲  
●設定温度を上げます。  
●反転表示を上方向へ移動させます。  
●選択項目を変更します。

⑤下ボタン▼  
●設定温度を下げます。  
●反転表示を下方向へ移動させます。  
●選択項目を変更します。

⑥右ボタン▶  
●反転表示を右方向へ移動させます。

⑦左ボタン◀  
●反転表示を左方向へ移動させます。

⑧運転/停止ボタン  
1度押すと運転し、もう1度押すと停止します。

⑨運転ランプ  
運転中、緑色に点灯します。異常時には点滅します。

⑩戻るボタン  
●基本画面に戻ります。  
●約3秒間長押しでチャイルドロックを設定します。  
●基本画面で「戻る」ボタンを先に押しながら、「タイマー入/切」ボタンを約10秒間長押しで、現地設定メニューが表示されます。(床暖運転停止中のみ有効です。)

## 現地設定メニュー一覧

パネル種類設定  
循環液設定  
ゾーン設定  
給水運転  
試運転  
温度エリア設定  
ゾーン名登録  
サービス連絡先登録

⑪液晶表示部(バックライト付)  
操作ボタンのいずれかを押すとバックライトが約30秒間点灯します。

## ① 電源投入

※本機は **200V専用室外電源機** です。  
●室外ユニットの配線工事が完了しているか確認してください。

1. 電源投入後、次の表示が出ます。  
“接続確認中 しばらくお待ちください”

### 【2つのリモコンで制御する場合】

付属リモコンがメインリモコン、増設リモコンがサブリモコンです。  
現地設定は、メインリモコンで行ってください。

メインリモコン	サブリモコン
ARC454A1 (付属リモコン)	KRC986A1 (増設リモコン)

## ② 現地設定メニュー

- 基本画面で「戻る」ボタンを先に押しながら、「タイマー入/切」ボタンを約10秒間長押しする。(初回電源投入時は、長押しは不要です。)
- 現地設定警告画面が表示される。「メニュー/決定」ボタンを押す。
- 現地設定確認画面が表示される。「◀▶」ボタンで **はい** を選択し、「メニュー/決定」ボタンを押す。
- 現地設定のメニュー画面が表示される。メニュー一覧の内容は、以下の通りです。

現地設定メニュー一覧

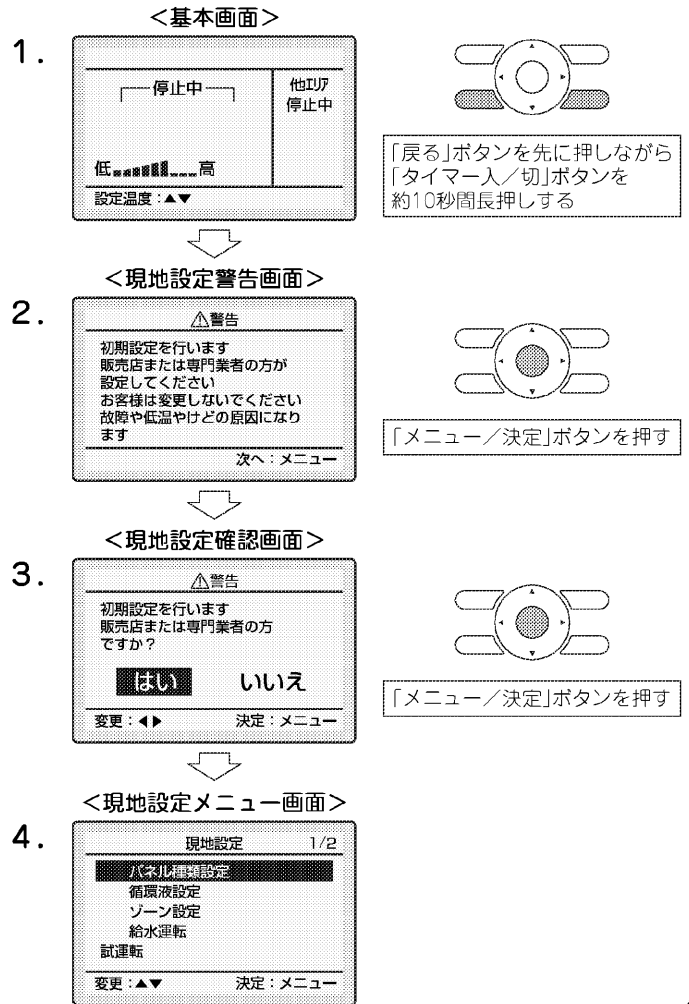
パネル種類設定	※
循環液設定	
ゾーン設定	
給水運転	
試運転	
温度エリア設定	
ゾーン名登録	
サービス連絡先登録	

※必ず設定してください。

設定が完了すると「戻る」ボタンで基本画面に戻ることができます。

**⑥ 試運転** 現地設定メニューの設定を変更した場合を参照してください。

ただし、※部の設定が完了していないと基本画面に戻ることができません。



## ③ パネル種類設定

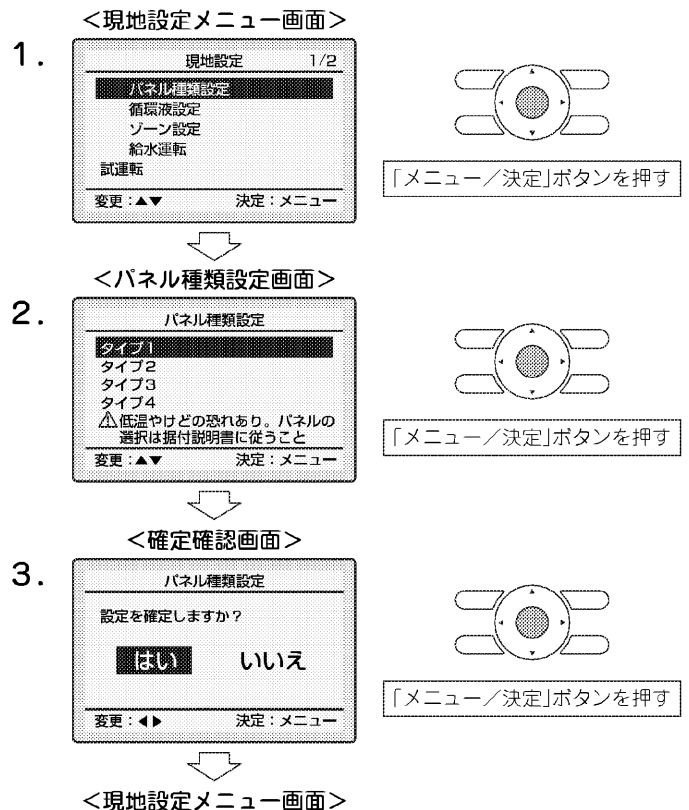
- 現地設定メニュー画面で、**パネル種類設定** を選択し、「メニュー/決定」ボタンを押す。
- パネルタイプを選択し、「メニュー/決定」ボタンを押す。

パネル種類	パネル名	行き水温
タイプ1	ホットエコフロアパネル(床材7mm)、エコリード	45~50℃
タイプ2	ホットエコフロアパネル、はるびより、ほっとびあN12+リネア、ほっとびあJ11	50~55℃
タイプ3	ほっとびあA12(N12)、ほっとびあG12、G15、	55~60℃
タイプ4	キュア真打、はるびよりツイン12	

- 上記以外のパネルに関しては、パネルメーカーに問い合わせてください。低温やけどのおそれのない設定にしてください。
- 床材は12mmが標準です。薄い床材を使用する場合は注意してください。

- はい** を選択し、「メニュー/決定」ボタンを押す。設定した内容が確定され、現地設定メニュー画面に戻る。

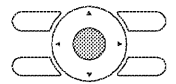
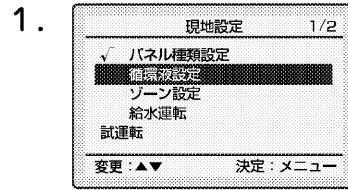
パネル種類設定画面で「戻る」ボタンを押すと現地設定メニュー画面に戻る。



## 4 循環液設定

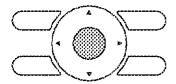
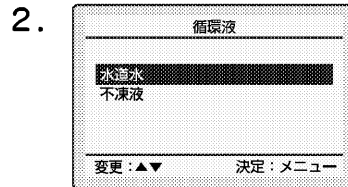
1. 現地設定メニュー画面で、**循環液設定** を選択し、「メニュー/決定」ボタンを押す。
2. 水道水か不凍液を選択し、「メニュー/決定」ボタンを押す。  
●凍結のおそれがある場合は、不凍液を使用してください。
3. **はい** を選択し、「メニュー/決定」ボタンを押す。  
設定した内容が確定され、現地設定メニュー画面に戻る。

<現地設定メニュー画面>



「メニュー/決定」ボタンを押す

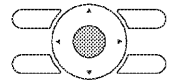
<循環液設定画面>



「メニュー/決定」ボタンを押す

3. <確定確認画面>

<現地設定メニュー画面>



「メニュー/決定」ボタンを押す

## 5 ゾーン設定

●お客様と相談の上、設定してください。

1. 現地設定メニュー画面で、**ゾーン設定** を選択し、「メニュー/決定」ボタンを押す。
2. 熱動弁の数機種によって異なるため、(ゾーン設定画面)も異なります。

機種名	熱動弁の数	選定できるゾーン	ゾーン設定初期画面
1MU28RFV 1MU28NFV	2	A,B	熱動弁 1 2 3 ゾーン A A -
1MU40RFV 1MU40JFV	3	A,B,C	熱動弁 1 2 3 ゾーン A A A
1MU56RFV 1MU56JFV	4	A,B,C,D	熱動弁 1 2 3 4 ゾーン A A A A

触らないで  
ください

「◀▶」ボタンで熱動弁1、2、(3)、(4)を選択します。  
●1MU28RFV、1MU28NFVの熱動弁(3)は触らないでください。  
1MU56RFV、1MU56JFVの熱動弁(4)は“-”から変更可能です。  
「▲▼」ボタンでそれぞれのゾーンをA、B、(C)、(D)の中から選択してください。  
温水パイプを接続しない熱動弁は“-”を設定してください。  
ゾーンについての詳細は取扱説明書をご覧ください。

3. ゾーンを設定したら、「メニュー/決定」ボタンを押す。

※ゾーンはABCの順番で設定してください。

ABDのようにCを飛ばした場合、  
ゾーン設定不良画面が表示されます。

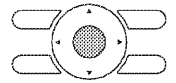
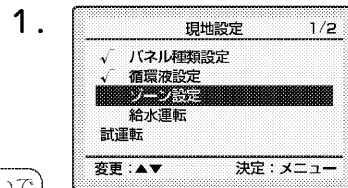
【例】正しい設定……ABC AAB  
間違った設定……ACD ACC

間違った設定の場合、「メニュー/決定」ボタンで  
ゾーン設定画面に戻り、もう一度設定し直してください。

4. 正しい設定の場合、ゾーン設定確定確認画面が表示される。

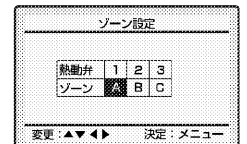
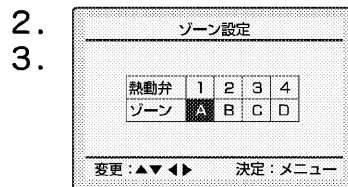
**はい** を選択し、「メニュー/決定」ボタンを押す。  
設定した内容が確定され、現地設定メニュー画面に戻る。

<現地設定メニュー画面>



「メニュー/決定」ボタンを押す

<ゾーン設定画面>

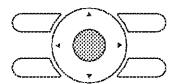
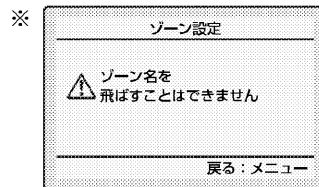


(1MU40RFVの設定例)



(1MU28RFVの設定例)

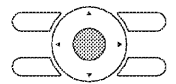
<ゾーン設定不良画面>



「メニュー/決定」ボタンを押す

<確定確認画面>

<現地設定メニュー画面>



「メニュー/決定」ボタンを押す

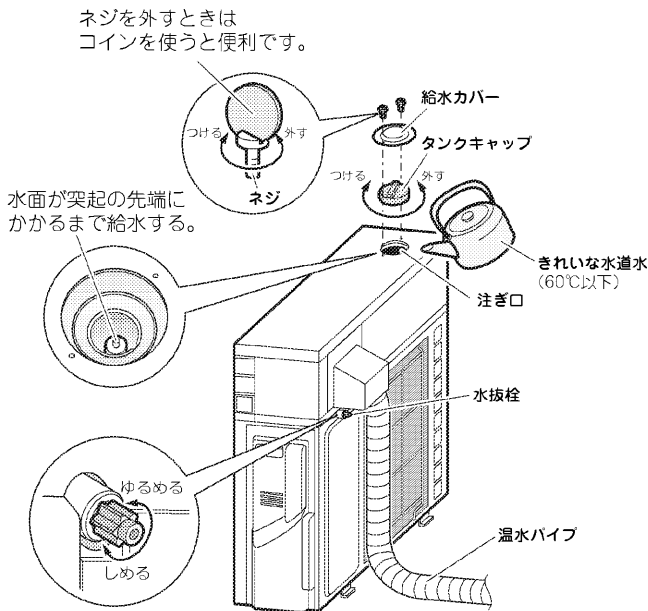
# ⑥ 給水運転 ①

## 注意

- きれいな水道水(60℃以下)をご使用ください。井戸水、工業用水、添加剤、ゴミなどは入れないでください。
- 不凍液を使用される場合は、指定の不凍液KM-37を使用してください。不備があると、故障の原因になります。

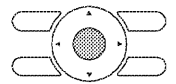
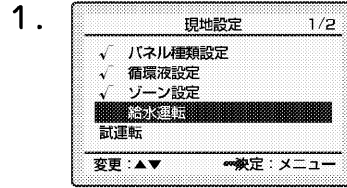
1. 現地設定メニュー画面で、**給水運転** を選択し、「メニュー/決定」ボタンを押す。
2. **次へ** を選択し、「メニュー/決定」ボタンを押す。
3. **次へ** を選択し、「メニュー/決定」ボタンを押す。  
下記「給水のしかた」の要領で給水してください。  
●給水せずにポンプを運転すると、ポンプの故障原因になります。

### 給水のしかた



4. **次へ** を選択し、「メニュー/決定」ボタンを押す。給水運転が開始する。
5. 給水運転は、約7分で自動的に終了する。水位が下がるので給水タンクの水位ゲージ上端(給水タンク内の突起の先端)まで水を補給してください。
6. 給水運転が終了すると、給水運転完了確認画面が表示される。**はい** を選択し、「メニュー/決定」ボタンを押す。

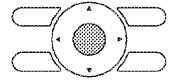
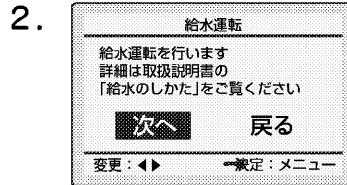
### <現地設定メニュー画面>



「メニュー/決定」ボタンを押す



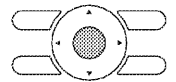
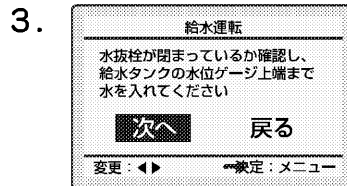
### <給水運転開始画面>



「メニュー/決定」ボタンを押す



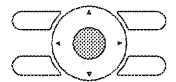
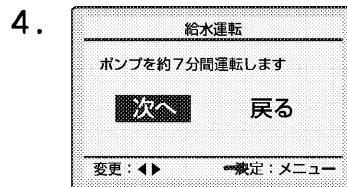
### <給水確認画面>



「メニュー/決定」ボタンを押す



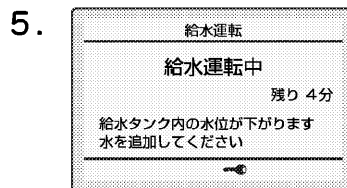
### <給水ポンプ運転画面>



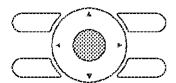
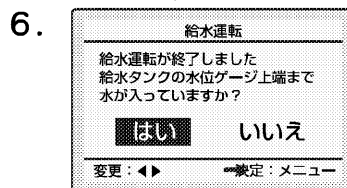
「メニュー/決定」ボタンを押す



### <給水運転中 タイマー表示画面>



### <給水運転完了確認画面>

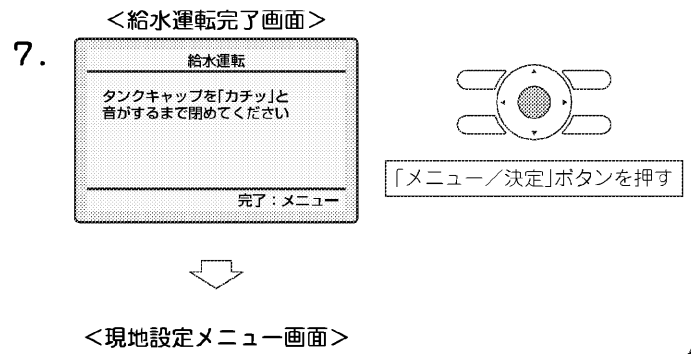


「メニュー/決定」ボタンを押す



## 7 給水運転 ②

7. 給水運転完了画面が表示される。  
「メニュー／決定」ボタンを押す。  
給水運転を終了し、現地設定メニューに戻る。

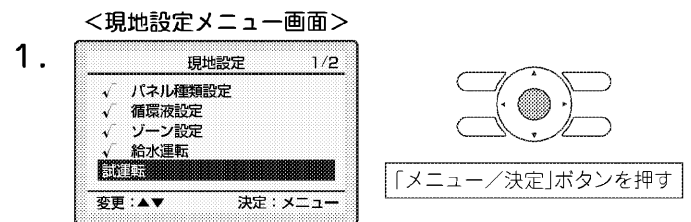


## 8 試運転

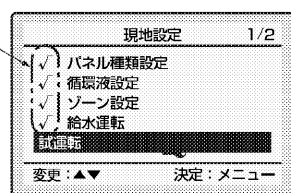
### お知らせ

- 屋外温度が24℃を超える場合は、リモコンの **試運転** を選択せず、設定終了後、全ゾーンでの運転を行ってください。

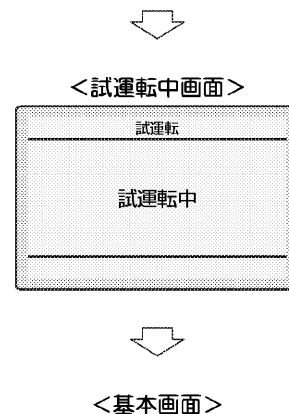
1. 現地設定メニュー画面で **試運転** を選択し、「メニュー／決定」ボタンを押す。



「✓」が表示されていることを確認してください。  
「✓」はすでに設定していることを示します。  
「パネル種類設定」、「循環液設定」、「ゾーン設定」、「給水運転」は試運転前に必ず設定してください。



2. 試運転中画面が表示される。
- 約50分間運転後、自動的に停止し、基本画面に戻る。



### 試運転時の注意

- リモコンの表示に従って行ってください。
- 屋外温度が24℃を超えている場合は、リモコンの試運転を選択しないでください。
- リモコンに異常コード「U2」が表示された場合は、電源電圧を確認してください。
- リモコンに「給水運転を行ってください」が表示された場合は、水位、配管詰まり、誤配管、ゾーン設定間違い、パネル制約不良を確認してください。

異常時	修正した後に給水運転を行い、もう一度試運転を行う。
正常時	給水運転を行った後、試運転として全ゾーン運転を行う。(屋外温度が24℃を超えると、運転範囲を超えているので、試運転時に「給水運転を行ってください」と表示する場合があります。)

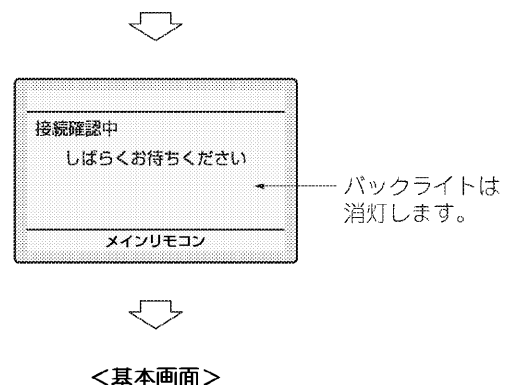
### 試運転後の注意

- 室外ユニットを運転していないときでも、水の凍結防止や水あかの付着防止のため、自動的にポンプを運転しますので、作業終了後もプレーカーを入れておいてください。  
水も常に入れたままにしておいてください。
- 冬期にお客様への引き渡しまでに電源プレーカーを切られる場合には、凍結による機器の故障を防ぐため必ず水抜きを行ってください。引き渡し時に給水してください。(指定不凍液を使用の場合は、水抜きを行わないでください。)詳細は取扱説明書をご覧ください。

### 現地設定メニューの設定を変更した場合

各設定確定後、「戻る」ボタンを押すと、下画面が表示され、基本画面に戻ります。

### <現地設定メニュー画面>



## 9 温度エリア設定

※取扱説明書を確認しながら、お客様と相談の上、設定してください。

1. 現地設定メニュー画面で、**温度エリア設定** を選択し、「メニュー/決定」ボタンを押す。

2. 「◀▶」ボタンでゾーンA、B、C、Dを選択し、「▲▼」ボタンでそれぞれエリアを設定する。  
“I”が“II”を選択してください。

⑥ゾーン設定で設定しなかったゾーンは表示されません。

注)付属リモコンの場合

エリアIがメインエリアになります。

エリアIIが他エリアになります。

増設リモコンの場合

エリアIが他エリアになります。

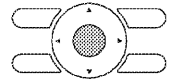
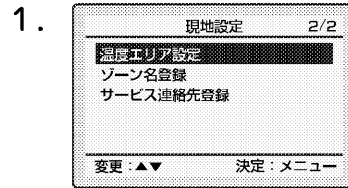
エリアIIがメインエリアになります。

※エリアについての詳細は取扱説明書をご覧ください。

すべてのゾーンにエリアを設定し、「メニュー/決定」ボタンを押す。

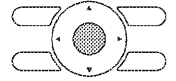
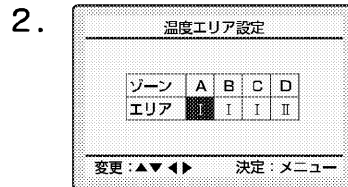
3. **はい** を選択し、「メニュー/決定」ボタンを押す。  
設定した内容が確定され、現地設定メニュー画面に戻る。

<現地設定メニュー画面>



「メニュー/決定」ボタンを押す

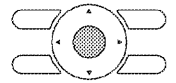
<温度エリア設定画面>



「メニュー/決定」ボタンを押す

3. <確定確認画面>

<現地設定メニュー画面>



「メニュー/決定」ボタンを押す

## 10 ゾーン名登録

※取扱説明書を確認しながら、お客様と相談の上、設定してください。  
以下のゾーン登録名から選択してください。

リビング1	子供部屋1	洗面所
リビング2	子供部屋2	トイレ
ダイニング	寝室1	風呂
キッチン	寝室2	登録なし

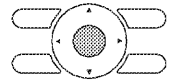
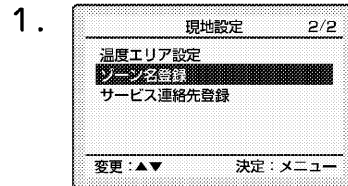
1. 現地設定メニュー画面で、**ゾーン名登録** を選択し、「メニュー/決定」ボタンを押す。

2. ゾーンAを選択し、「メニュー/決定」ボタンを押す。

3. ゾーン名を選択し、「メニュー/決定」ボタンを押す。  
他のゾーンも2、3の手順で登録する。

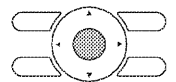
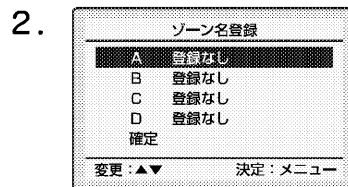
4. すべてのゾーン名の登録後、**確定** を選択し、「メニュー/決定」ボタンを押す。  
設定した内容が確定され、現地設定メニュー画面に戻る。

<現地設定メニュー画面>



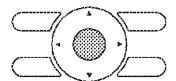
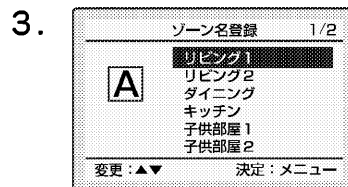
「メニュー/決定」ボタンを押す

<ゾーン名登録時ゾーン選択画面>



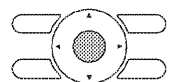
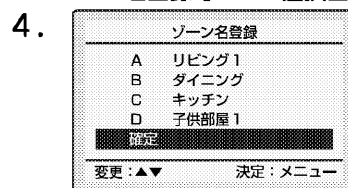
「メニュー/決定」ボタンを押す

<ゾーン名登録画面>



「メニュー/決定」ボタンを押す

<ゾーン名登録時ゾーン選択画面>

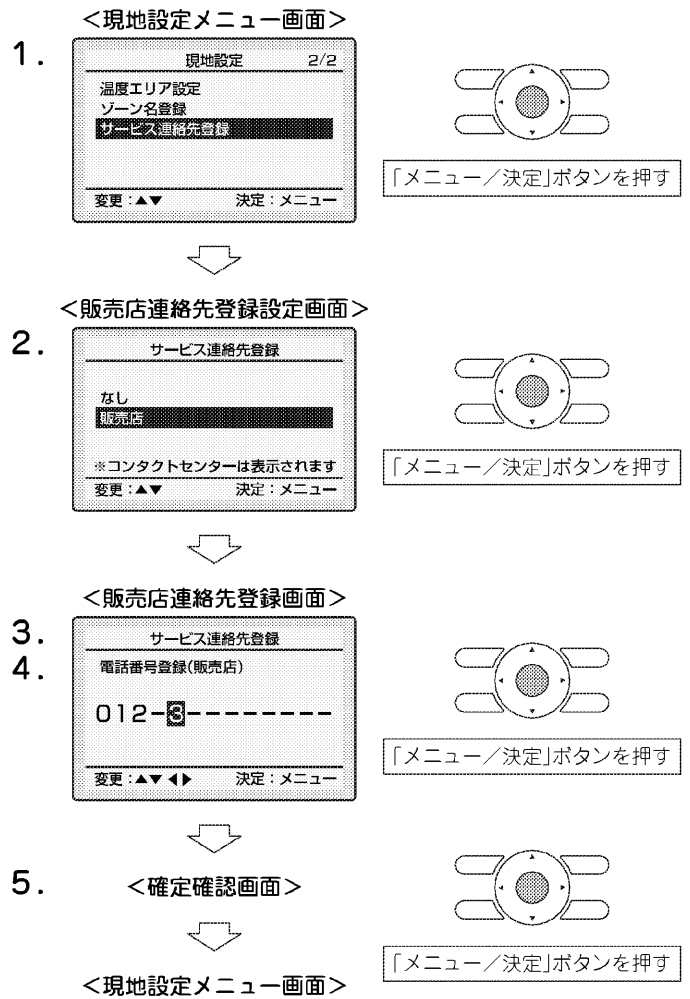


「メニュー/決定」ボタンを押す

<現地設定メニュー画面>

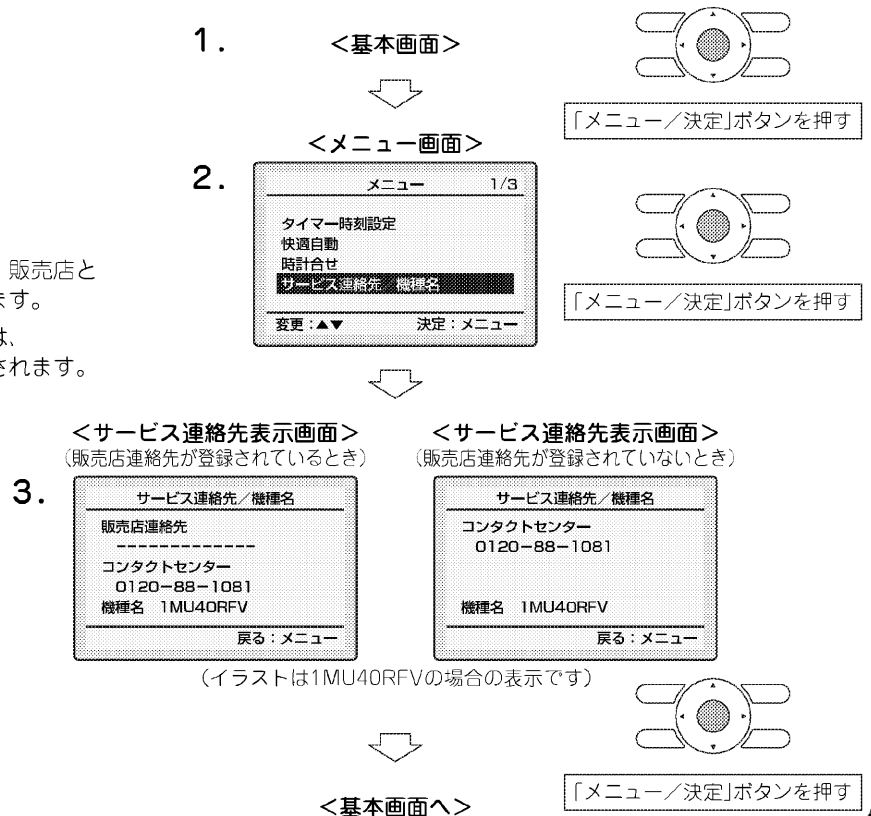
# 11 サービス連絡先登録

1. 現地設定メニュー画面で、**サービス連絡先登録** を選択し、「メニュー/決定」ボタンを押す。
2. **販売店** を選択し、「メニュー/決定」ボタンを押す。
3. 「◀▶」ボタンで位置を選択し、「▲▼」ボタンで電話番号を入力する。
  - 左づめで入力し、余った桁は“-”のままにします。
  - ※電話番号の間違いにご注意ください。
4. 登録後、「メニュー/決定」ボタンを押す。
5. 確定確認画面が表示される。**はい** を選択し、「メニュー/決定」ボタンを押す。設定した内容が確定され、現地設定メニュー画面に戻る。



## 登録内容の確認

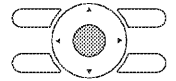
1. 基本画面で、「メニュー/決定」ボタンを押す。
2. **サービス連絡先 機種名** を選択し、「メニュー/決定」ボタンを押す。
3. サービス連絡先表示画面が表示される。
  - 販売店の電話番号が登録されている場合は、販売店とコンタクトセンターの電話番号が表示されます。
  - 販売店の電話番号が登録されていない場合は、コンタクトセンターの電話番号のみが表示されます。
 「メニュー/決定」ボタンで、基本画面に戻る。



## 12 時計合せ

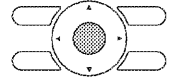
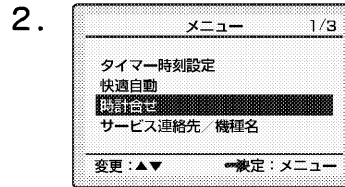
1. 基本画面で、「メニュー／決定」ボタンを押す。
2. メニュー画面が表示される。  
**時計合せ** を選択し、「メニュー／決定」ボタンを押す。
3. 「◀▶」ボタンで位置を選択し、「▲▼」ボタンで【時(0~23)】【分(00~59)】を設定、「メニュー／決定」ボタンを押す。
4. **はい** を選択し、「メニュー／決定」ボタンを押す。  
 設定した内容が確定され、基本画面に戻る。
  - 2台のリモコンを使用している場合は、片方を時刻設定するともう一方も同じ時刻に設定されます。  
 (最大1分のずれがあります。)

1. <基本画面>



「メニュー／決定」ボタンを押す

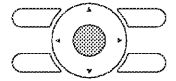
<メニュー画面>



「メニュー／決定」ボタンを押す



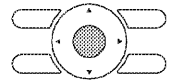
<時刻設定画面>



「メニュー／決定」ボタンを押す



4. <確定確認画面>



「メニュー／決定」ボタンを押す

<基本画面へ>



この製品にはGWP(地球温暖化係数)が2090のフロン類が封入されています。地球温暖化防止のため、移設・修理・廃棄等に当たってはフロン類の回収が必要です。



## お願い

- 保証書に必要事項を記入し、お客様にお渡しください。
- 取扱説明書の裏表紙の**初期設定の記録**に初期設定情報を記入し、お客様にお渡しください。
- 取扱説明書を見ながらお客様に実際に操作していただき、正しい運転のしかた(特に運転操作のしかた、および温度調節のしかた)をご説明ください。